

ソフトウェア開発企画書

1. 企画書のタイトル

プロジェクト名: import-exportCSV
作成日: 2024.12.12
作成者: 中島麻莉

2. プロジェクト概要

目的:
csvのimport-exportによる効率化

3. ターゲットユーザー

学生、フリーランス、一般の方

4. 機能要件

主な機能:
VBAを使ってCSVのエクスポート・インポート
機能により外部データとの連携。

5. システム構成

フロントエンド: Microsoft Excel
バックエンド: VBA
動作環境: Windows OS

6. 開発スケジュール

設計: 1日
実装: 1日
テスト: 1日

7. リソース

使用時間:
2時間程度
進捗管理方法:
GitHubでバージョン管理

8. リスクと対策

予測されるリスク:
特になし

9. 品質管理とテスト

テスト戦略:
単体テスト
品質基準:
バグなし、直感的で操作しやすいUI

10. 納品物

納品物の概要:
import-exportCSV
納品予定日:
2024.12.19

11. 運用・保守計画

運用サポート:
バグ修正
保守計画:
ユーザーからのフィードバックに基づき機能追加

12. レビューと反省

自己レビュー:
シンプルなコード構成で、CSVインポート・エクスポートの自動化を実現できた。
処理進行中を知らせるステータスバーやプログレス表示がないため、ユーザーに不安を与える可能性がある。

詳細設計書

画面遷移図:

トップ画面 → CSVインポート画面

ファイル選択 → データ取り込み → 処理完了メッセージ

トップ画面 → CSVエクスポート画面

データ編集 → エクスポートボタン → ダウンロード完了メッセージ

システム構成:

フロントエンド: Microsoft Excel, ファイル選択ダイアログ

バックエンド: VBAスクリプト

データ保存: ローカルPCにCSVファイルを保存 (Shift_JISエンコード形式)

動作環境: Windows 10以上, Microsoft Excel 2016以上

コントローラの仕様:

CSVインポート処理:

1. ファイル選択ダイアログを開く。
2. ユーザーが選択したCSVファイルを読み込む。
3. 読み込んだデータをimprotシートに展開。
4. 読み込み完了メッセージを表示する。

CSVエクスポート処理:

1. ユーザーがエクスポートボタンを押下。
2. improtシートのデータを取得。
3. ダウンロードフォルダにexport.csvとして保存。
4. 保存完了メッセージを表示。
5. improtシートのデータを消去。

テスト表

テストケースID、機能名、入力、期待される結果、結果

TC001: CSVインポート正常系 -> 正常なCSVファイル ->

データが正しくシートに取り込まれる -> OK

TC002: CSVインポート異常系 -> 空のCSVファイル -> 空が取り込まれる -> OK

TC003: CSVインポート異常系 -> 不正なファイル形式 -> 選択できない -> OK

TC004: CSVエクスポート正常系 -> シートに正常データが存在 ->

正しい形式でCSVが出力される -> OK

TC005: CSVエクスポート異常系 -> シートが空 -> 空が出力される -> OK

TC006: エクスポート後の内容確認 -> 任意の入力 -> シート内容がクリアされる -> OK

操作手順書

1. CSVファイルをインポートする手順 (ImportCSV)

ステップ1 : IMPORTボタンをクリック

ステップ2 : CSVファイルを選択

ステップ3 : データのインポート

選択したCSVファイルの内容は、指定されたシート (improt) にインポートされます。

ステップ4：インポート完了

インポートが完了すると、シート（improt）にCSVの内容が反映されます。

2. シートの内容をCSVファイルとしてエクスポートする手順（ExportCSV）

ステップ1：EXPORTボタンをクリック

ステップ2：CSVファイルの保存

ユーザーのダウンロードフォルダにexport.csvという名前でCSVファイルが保存されます。

ステップ3：データの消去

エクスポートが完了すると、シートの内容は消去されます。

ステップ4：エクスポート完了

エクスポートが正常に完了したことを示すメッセージボックスが表示されます。